

分野をつなぎ移動に関する諸問題に取り組む
特定非営利活動法人 ゆうらん

[第 12 期]

事業報告書

[2017.10.1～2018.9.30]



You can feel the Outlook of an Universe.

Run with Us Now !

1. 2017 年度事業・活動

はじめに

本事業年度においては、3年ぶりに「なまら便利なバスマップ」を発行するとともに、札沼泉ネットワークへの参画や高校の総合学習等への協力を通じて、例年よりも活動の場を広げることができました。

しかし、財政基盤の脆さは変わらず、今期は法人化以降3度目の赤字転落となりました。

(1) 誰もが暮らしやすいまちづくりを推進する事業

① 札沼泉ネットワークへの参画

任意団体「北の里泊ネット」(月形町)が母体となって結成した「札沼泉ネットワーク」に参画し、札沼線(学園都市線)の利用促進と地域活性化を目指した企画提案した「スタンプラリー『乗って! 浸かって! 札沼泉!』」の広報等のお手伝いをしています。

同ネットワークには、沿線3町で活動している地域おこし協力隊員をはじめ、沿線の関係者が参画しています。



スタンプラリーの台紙



滝の湯(当別町)

(2) 円滑な移動を支援する事業

① 公共交通路線図(なまらシリーズ) 関連

1) 「なまら便利なバスマップ」

今回は節目となる第10版でしたが、初の冠スポンサー((公財)札幌市シルバー人材センター様)を獲得しての発行となり、1.2万部を発行しました。

紙面レイアウトを一部見直し、江別市(一部除く)と北広島市の一部まで掲載エリアを拡大しました。

◇協賛企業名(50音順)

青い森ウェブ工房様/岩田地崎建設(株)様/札幌市シルバー人材センター様/(株)地域デザイン様/NPO法人手と手様/有限会社ニューステージ様/NPO法人漂流教室様/北都交通(株)様/(株)北洋銀行様

◇ご寄付

札幌市苗穂・本町地区センター様/匿名1社

◇主な配布先（順不同）

札幌市交通局 定期券発売所（9 か所）／バスチケットセンター アピア店／各バス事業者管轄のターミナル・営業所等／札幌市シルバー人材センター（中央支部・東支部・西支部）

この他、札幌市さぽーとほっと基金登録団体用のラック設置場所であるイオン各店舗のうち4店舗（平岡店・桑園店・発寒店・藻岩店）にて配架を行い、配布状況は以下のとおりでした。

平岡店	桑園店	発寒店	藻岩店	合計
101	200	140	115	556



表紙



裏表紙（全面広告）

2) 道内都市の公共交通路線図の公開

以下の路線図を適宜更新し、web 上で公開しています。

- ・函館市公共交通路線図「なまらイカしたバスマップ」
- ・釧路市・釧路町公共交通路線図「なまら霧としたバスマップ」

② 「バス停検索」のメンテナンス

全国のバス停が検索できる web サイト「バス停検索」（<https://buste.in/search/bus/>）（運営主体：青い森ウェブ工房様）のメンテナンスをお手伝いしています。

(3) 環境負荷低減を推進する事業

（公財）北海道環境財団様と連携して行っている「平成 30 年度二酸化炭素排出抑制対策事業委託業務における公共交通利用促進のための企画支援および助言に係る業務」において、訓子府町と置戸町の各バスマップを制作しています。各町内の広報誌に組み込む形で全戸配布が予定されています。

また、事業番号 2、4 におけるそれぞれの事業、及び、公職（北海道環境審議会温暖化対策部会）が、環境負荷低減につながる内容を内包しています。

(4) 情報収集発信及び調査研究事業

web 上で、「福祉と交通」、「環境と交通」はじめ、移動にかかわる情報発信を行っています。



トップページ

①情報収集発信

1) ホームページ

- ◇総アクセス数：総訪問者数 429,775 人
(年間 101,953 人) (9月30日現在)
- ◇1日平均：約 279 人 [前年比：約 87%]
- ◇訪問者数が最も多かった日：2018年8月13日 (679人)

◇最も訪問者が多かった記事上位3件 (過去7日間) (単位：人)

ページ内容	件数
札幌⇔函館方面	130
ようこそ！ NPO 法人ゆうらんのホームページへ	125
一日散歩きっぷ モデルコース	110

◇記事別の訪問者数 (単位：人)

ページ内容	人数
市電・函館バス共通 1日、2日乗車券 [函館市、函館バス]	32,225
札幌⇔函館方面	30,130
共通 1DAY カード [札幌市交通局、札幌市内バス 3社]	26,866

◇アフィリエイト等

- ・ Google AdSense (年間) 27,997 円 (9月30日現在)
- ・ アフィリエイト (A8net) (年間) 0 円 (9月30日現在)

2) ソーシャル・メディア (SNS) の活用

フェイスブックは、平日 1日 1件の投稿を心掛け、会員以外の方々との交流や情報交換を図ってきました。

なお、フェイスブックの最新投稿はホームページのトップ下部に反映されています。

- ・ 獲得「いいね！」 - 353 件 (9月30日現在)

②調査研究事業

当団体が、協力者として参画させていただいている企業の各業務を通じて、以下の調査研究等に関わりました。

- ・ 道内各自治体運営によるバス (コミュニティバス) の路線再編案の作成
- ・ 各種事例調査

など

- (5) 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業 ※
- (6) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業 ※
- (7) 障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業 ※
- (8) 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業 ※
- (9) 介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業 ※
- (10) 道路運送法に基づく福祉有償運送事業 ※
- (11) 路運送法に基づく旅客自動車運送事業 ※
- (12) 公的施設の管理運営事業 ※

※の各事業は本年度実施に至りませんでした。

(13) その他

①企業・団体との連携

以下の企業・団体様とお取引を致しました。(50音順)

青い森ウェブ工房様／日本データサービス(株)様／(一社)北海道開発技術センター様／
(公財)北海道環境財団様／NPO法人エコ・モビリティ サッポロ様／
NPO法人北海道ふるさと回帰支援センター様

②講師派遣

以下の団体等に講師派遣を行いました。

◆岩見沢シチズン様

“公共交通の存続・維持をする上での問題提起や、交通とまちづくりをどうリンクさせていくかについて市民の皆さんと一緒に考える機会を設けたい”とのことで、「岩見沢シチズン創立5周年記念連続講座②ー車座勉強会ー」にて講演させていただきました。

◇テーマ「利用者(市民)目線から公共交通の未来を考える」

◇日時：2017年12月18日

◇場所：岩見沢市生涯学習センター“いわなび”



当日の様子を掲載した新聞記事

◆啓成高校 Future vision (FV) アドバイザー

札幌啓成高校（札幌市厚別区）の総合的な学習の時間（総合学習）における“Future Vision (FV)”と名付けた『3年間で「人生とのつながり・社会とのつながり」を考える』という取組みで要請を受け、アドバイザーを派遣しました。

テーマは「もみじ台団地から、ステキな未来のまちづくりを考えよう！」と題し、地域の関係機関にもご協力いただいています。

〔日程〕

第1回 平成30年4月20日

第2回 平成30年5月2日

第3回 平成30年8月21日

※全4回のうち3回実施済み



4/20の説明会の様子

③各公職への出席

◇札幌圏モビリティ・マネジメント会議

平成29年度 第1回（1月）

◇北海道環境審議会地球温暖化対策部会

平成29年度 第2回（10月）／第3回（1月）

平成30年度 第1回（7月）

④その他

事務局へのお問合せ件数

◇直接 17件（電話・メール・訪問） [前年比：100.0%] （業務関連を除く）

・主な内容－「なまら便利なバスマップ」の配布場所、発行時期などについて。

2. 2017 年度収支決算報告、監査

活動計算書
2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	30,000	30,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	309,920	309,920
3. 事業収益		
円滑な移動支援事業収益	549,500	
情報収集発信・調査研究事業収益	3,487,536	4,037,036
4. 受取補助金等		
受取民間助成金		0
5. その他収益		
受取利息	42	
雑収益	49,816	49,858
経常収益計		4,426,814
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	3,500,000	
法定福利費	512,001	
人件費計	4,012,001	
(2) その他経費		
業務委託費	10,800	
旅費交通費	191,951	
福利厚生費	4,800	
通信費	59,440	
消耗品費	1,500	
事務用品費	2,332	
支払手数料	324	
新聞図書費	1,750	
租税公課	3,000	
印刷製本費	301,860	
雑費	5,579	
その他経費計	583,336	
事業費計		4,595,337
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	813	
通信費	1,200	
事務用品費	216	
地代家賃	308,400	
賃借料	1,620	
保険料	7,540	
委託費	10,800	
租税公課	480	
雑費	1,883	
その他経費計	332,952	
管理費計		332,952
経常費用計		4,928,289
当期正味財産増減額		△ 501,475
前期繰越正味財産額		5,353,382
次期繰越正味財産額		4,851,907

その他の事業会計該当なし

貸借対照表

2018 年 9 月 30 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	10,000		
普通預金	4,851,924		
郵便振替口座	6,515		
未収金			
前払費用	25,700		
流動資産合計		4,894,139	
2. 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金	21,000		
退職金共済積立金	54,000		
投資その他の資産計	75,000		
固定資産合計		75,000	
資産合計			4,969,139
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	49,120		
預り金	68,112		
流動負債合計		117,232	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			117,232
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,353,382	
当期正味財産増減額		△ 501,475	
正味財産合計			4,851,907
負債及び正味財産合計			4,969,139

その他の事業会計該当なし

財産目録

2018 年 9 月 30 日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	10,000		
北海道労働金庫	50,134		
北洋銀行	4,801,790		
ゆうちょ銀行振替口座	6,515		
前払費用	25,700		
流動資産合計		4,894,139	
2. 固定資産			
(1) 投資その他の資産			
敷金	21,000		
退職金共済積立金	54,000		
固定資産合計		75,000	
資産合計			4,969,139
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	49,120		
預り金	68,112		
流動負債合計		117,232	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			117,232
正味財産			4,851,907

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準（2010 年 7 月 20 日 2017 年 12 月 12 日最終改正 NPO 法人会計基準協議会）によっています。

（1）消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳 事業費の区分以下の通りです。

(単位:円)

科目	円滑な移動 支援事業	情報収集発信・ 調査研究事業	助成事業	合計
(1) 人件費				
給料手当	1,750,000	1,750,000		3,500,000
法定福利費	255,998	256,003		512,001
人件費計	2,005,998	2,006,003	0	4,012,001
(2) その他経費				
業務委託費		10,800		10,800
旅費交通費	108,461	83,490		191,951
福利厚生費		4,800		4,800
通信費	56,052	3,388		59,440
消耗品		1,500		1,500
事務用品費	2,008	324		2,332
支払手数料	324	0		324
新聞図書費		1,750		1,750
租税公課		3,000		3,000
印刷製本費	301,860	0		301,860
雑費	5,179	400		5,579
その他の経費計	473,884	109,452	0	583,336
合計	2,479,882	2,115,455	0	4,595,337

<財務諸表の注記>

○役員及びその近親者との取引内容

役員及びその近親者との取引は以下のようになっています。

科目	(単位:円)		
	財務諸表上に 記載された金額	内役員との取引	内、近親者及び支配 法人等との取引
(活動計算書)事業費 人件費			
給与手当	3,500,000	3,500,000	0

3. 2018 年度事業・活動計画

はじめに

移動を取り巻く環境は、自動運転の実用化に向けた実験や MaaS(Mobility as a Service)の普及など、激しく変化していますが、前年度から継続している業務を確実に行うとともに、ミッション遂行と収益性のある事業とのバランスを保持し、安定した団体運営を目指します。

(1) 誰もが暮らしやすいまちづくりを推進する事業

- ・従来通り、他分野の団体・企業と連携し、分野横断（複合）的な取組みを継続します。

(2) 円滑な移動を支援する事業

- ・公共交通路線図の制作、助言等を行います。
- ・コミュニティバスをはじめとする地域の足などの良質な提案を行います。

(3) 環境負荷低減を推進する事業

- ・（4）の情報発信事業を通じて、移動に関する環境負荷低減を提唱していきます。

(4) 情報収集発信及び調査研究事業

- ・ホームページ等による情報発信において、アクセス数の向上を目指し、移動に関する問題への関心喚起を図ります。
- ・（1）～（3）の業務を通じて調査研究を行います。

- (5) 障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業 ※
- (6) 障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業 ※
- (7) 障害者自立支援法に基づく指定相談支援事業 ※
- (8) 介護保険法に基づく指定居宅サービス事業 ※
- (9) 介護保険法に基づく指定介護予防サービス事業 ※
- (10) 道路運送法に基づく福祉有償運送事業 ※
- (11) 道路運送法に基づく旅客自動車運送事業 ※
- (12) 公的施設の管理運営事業 ※

※の各事業は未定です。

(13) その他

■主な活動実績

- 2004年 6月 任意団体としてスタート
- 2006年 3月 「なまら便利なバスマップ」初版1万部発行（札幌市委託事業（元気プロポーザル事業））
- 2006年 11月 第4回パートナーシップ賞受賞、NPO法人認証
- 2007年 6月 「なまら便利なバスマップ」第2版1万部発行（札幌市委託事業）
- 2007年 7月 えき・バスナビ&バスマップ使い方講座開催
- 2007年 11月 「札幌公共交通おでかけ講座」開催（道立市民活動センター協働講座）
- 2008年 6月 「なまら便利なバスマップ」第3版1万部発行（（公財）秋山記念生命科学振興財団助成、（一社）北海道開発技術センター協力）
- 2009年 8月 「なまら便利なバスマップ」第4版1万5千部発行（発行主体：（公財）北海道環境財団）
- 2009年 9月 「北海道EST創発セミナーin札幌」（主催：北海道運輸局交通環境部環境課、交通エコロジー・モビリティ財団）に講師派遣
- 2009年 12月 「なまら便利なバスマップ」第5版2万部発行（発行主体：（公財）北海道環境財団）
- 2010年 2月 第5回人づくり・地域づくりフォーラム（主催：（公財）山口県ひとづくり財団）に講師派遣
- 2010年 8月 「バスマップの底力」（全国バスマップサミット実行委員会 編著）発行
- 2010年 11月 講座「これからの札幌圏の公共交通機関について考えよう！」開催（道立市民活動センター協働講座）
- 2011年 1月 「なまら便利なバスマップ」第6版1万部発行
- 2011年 6月 「NPOの特性を活かした地域課題解決型事業」（札幌市緊急雇用創出推進事業）、第8回北大ディベート大会「札幌市の交通デザイン」（主催：北海道大学大学院経済学研究科・経済学部）の話題提供として講師派遣
- 2011年 8月 在札被災者支援として、「さっぽろの歩き方」発行
- 2012年 1月 「なまら便利なバスマップ」第7版1万部発行
- 2012年 2月 公共交通で札幌のイトコ発見しよう！（4種類）各2,000部発行
- 2012年 3月 交通まちづくりシンポジウム開催（参加者約100名）
- 2013年 2月 交通まちづくりフォーラム開催（実行委員会の幹事団体として参画）（参加者約200名）、
「北海道交通事業者HPユーザビリティ調査」（北海道運輸局委託事業）
- 2014年 1月 「なまら便利なバスマップ」第8版1万部発行（初の協賛金による発行）
- 2015年 6月 「なまら便利なバスマップ」第9版2万部発行（全国初クラウドファンディングによる発行）
- 2016年 11月 各マップのweb閲覧機能の構築（北海道ろうきん社会貢献助成）
「カンタン英会話講座」①開催（（公財）北海道地域活動振興協会助成）
- 2017年 1月 「カンタン英会話講座」②開催（（公財）北海道地域活動振興協会助成）
- 2017年 5月 鉄道を活かした地域の魅力再発見ワークショップ①（※）
- 2017年 6月 鉄道を活かした地域の魅力再発見ワークショップ②（※）
鉄道落語&写真トーク開催（※）
- （※）は、NPO法人北海道NPOサポートセンターとの共催
- 2017年 12月 「岩見沢シチズン創立5周年記念連続講座②」（主催：岩見沢シチズン）に講師派遣
- 2018年 4月 啓成高校Future vision（FV）アドバイザー就任
- 2018年 5月 「なまら便利なバスマップ」第10版1.2万部発行（初の冠スポンサーを獲得）